

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年2月7日

公表: 令和4年 3月7日

事業所名 BOW一宮Ⅱ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動が出来るようスペース確保をしている。	法令を遵守したスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準の職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			トイレや入口に改善点があるため、その都度考えている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日目標設定と振り返りを行っている。	これからも続けていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			ご意見を真摯に受け止め、保護者様の意見も尊重しつつ支援につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		年1回インスタグラムで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		必要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1回の講習に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約前に保護者様にアセスメントを行い、計画作成をしている。	期間ごとにアセスメントをとり、それに沿った個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ同士で話し合い、1週間ごとにプログラムを考えている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個々にあったプログラムも考え実施している。	苦手なことでも参加したくなるようなプログラムを考えていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	公園へでかけたり、イベントなどは行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		両方とも対応できるように計画を作成している。	子どもの特性に応じて活動内容を考えている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、支援前に打ち合わせをしている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		送迎終了時に共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日支援計画を元に支援記録をとっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎にモニタリングを行い、保護者様と見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		事業所の児童発達管理責任者が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に情報共有をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	保護者様に主治医やかかりつけの病院の連絡先を聞いている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送りの際に必ずその日の様子を伝えるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には応じているが適切かどうかはわからない。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ収束後に検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応できるように心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			月1のおたよりと週2のインスタグラムで発信するようにしている。
	35	個人情報に十分注意している	○			鍵付きの棚に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			事業所として準備はしてあります。契約時に説明を行うよう徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に二回避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明をするよう徹底している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に確認して、同意を得ている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		スタッフ全員で共有している。	